

2020年5月20日

東日本旅客鉄道株式会社

組織の改正について

～「MaaS・Suica推進本部」「エネルギー戦略部」の設置～

JR東日本ではグループ経営ビジョン「変革2027」において、「ヒト」を起点として「生活の豊かさ」という価値を社会へ提供することを目指しています。今後、大きな環境変化が見込まれる中、社会へのさらなる貢献と、持続的な成長を実現するため、以下の通り組織改正を行います。

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「リアルからデジタルへ」「マスからパーソナルへ」などといった変化が加速することが見込まれる中、「移動のシームレス化」「多様なサービスのワンストップ化」「データを活用した新サービスの導入」の実現に向け、Suica・MaaS・データマーケティングを三位一体で推進するため、「MaaS・Suica推進本部」を設置します。
- 「脱炭素社会」への貢献や、エネルギー多様化などを通じて、「ESG経営の実践」をさらに推進するため、「エネルギー戦略部」を設置します。

1. 「MaaS・Suica推進本部」の設置について

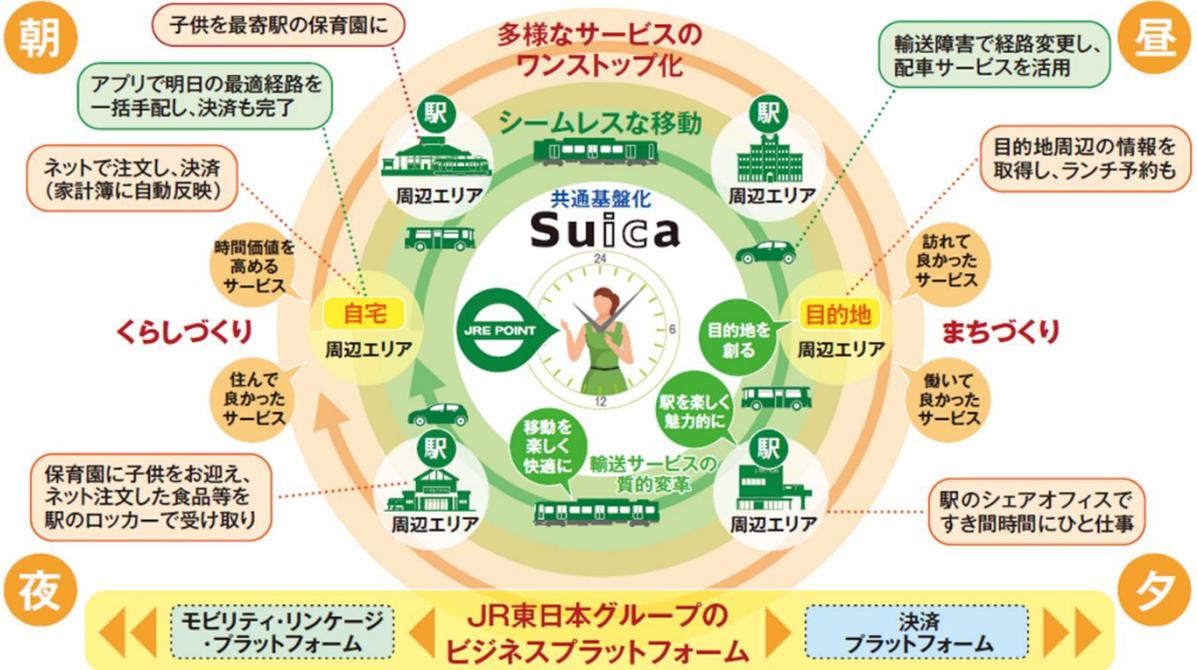
技術イノベーション推進本部のMaaS事業推進部門と、SuicaやJRE POINT関連業務などを所管しているIT・Suica事業本部を統合し、新たに「MaaS・Suica推進本部」を本社内に設置します。

具体的には、「モビリティ・リンクージ・プラットフォーム」と「決済プラットフォーム」の2つのプラットフォームの拡充・連携を加速させ、利便性のさらなる向上を図ります。また、移動情報・購入情報・決済情報などのビッグデータを活用したデータマーケティングを推進し、お客様の個々のニーズに応じたサービスの提供と、新たなサービスの導入を実現します。

なお、技術イノベーション推進本部では、運行やメンテナンス、サービスなどあらゆる場面において「デジタルトランスフォーメーション」を加速するため、グループ全体のシステムを統括し、部門を超えたデータ利活用を推進します。また、5Gをはじめとした最新技術の導入、知的財産戦略の強化などにも取り組んでいきます。

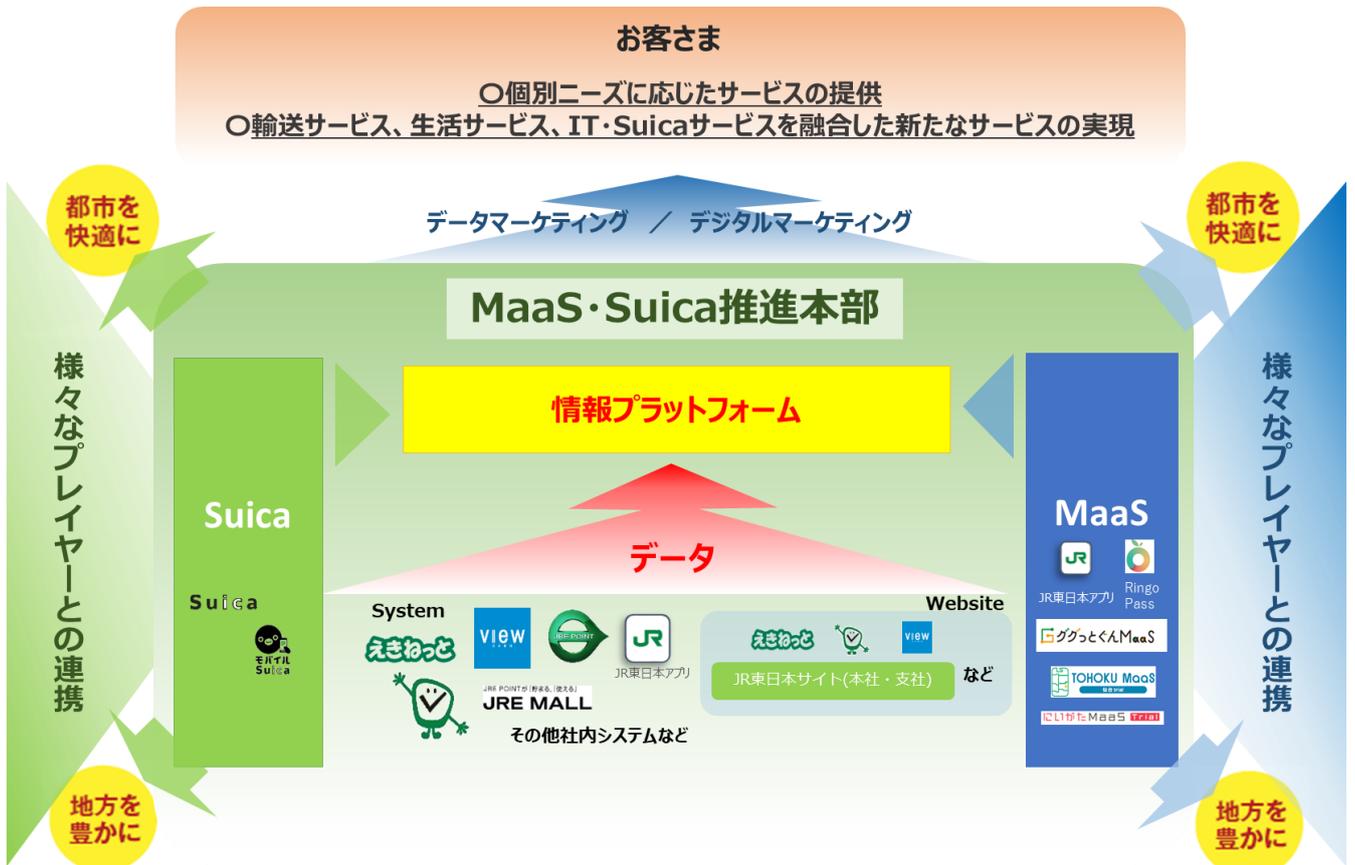
目指す姿（「変革2027」より）

■ 移動のシームレス化と多様なサービスのワンストップ化により、お客さまが24時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせ、移動・購入・決済等のサービスを利用できる環境を実現する。



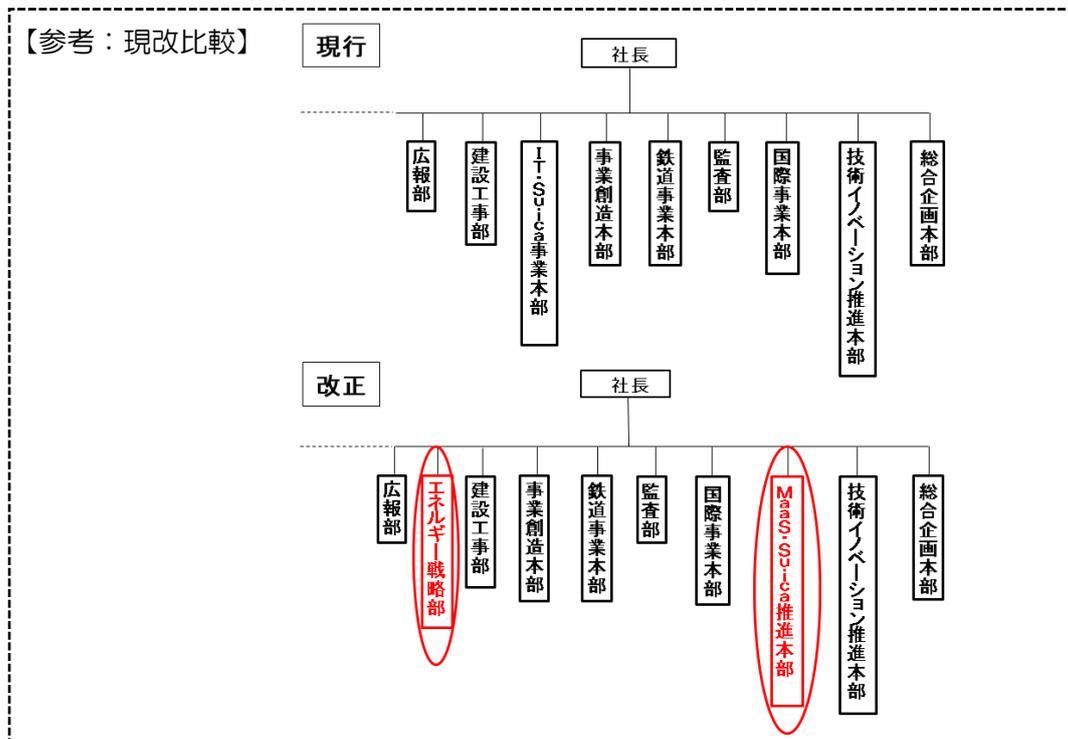
「MaaS・Suica 推進本部」の役割と当社のデータマーケティングのイメージ

■ Suica や MaaS のデータのほか、グループ内の様々なデータを活用し、輸送、生活、IT・Suica の3つのサービスを結びつけ、新サービス導入を拡大・加速させるとともに、個別ニーズにきめ細かく対応し、多様なサービスをワンストップで提供する。



2. 「エネルギー戦略部」の設置について

環境長期目標「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」（2050年度の鉄道事業CO₂排出量実質ゼロ）の達成や、水素エネルギーの利活用などのエネルギー多様化、電力の更なる安全安定供給などに向け、社外との連携や技術開発等の強化を通じ、エネルギー戦略を大胆に策定、強力に推進するため、「エネルギー戦略部」を設置します。



実施時期：2020年6月23日（火）